

スコアシート		実施設計段階								
配慮項目			環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み 係数	評価点	重み 係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.3	
Q1 室内環境						0.40		-	3.1	
1	音環境				3.6	0.15	-	-	3.6	
	1.1 室内騒音レベル		—		3.0	0.40	-	-		
	1.2 遮音				4.2	0.40	-	-		
	1	開口部遮音性能	T-2の性能を確保している。		5.0	0.60	-	-		
	2	界壁遮音性能	—		3.0	0.40	-	-		
	3	界床遮音性能(軽量衝撃源)	—		1.0	-	-	-		
	4	界床遮音性能(重量衝撃源)	—		3.0	-	-	-		
	1.3 吸音		床:タイルカーペット、天井:岩綿吸音板		4.0	0.20	-	-		
	2	温熱環境				3.0	0.35	-	-	3.0
		2.1 室温制御				3.0	0.50	-	-	
1		室温	—		3.0	0.38	-	-		
2		外皮性能	—		3.0	0.25	-	-		
3		ゾーン別制御性	—		3.0	0.38	-	-		
2.2 湿度制御		—		3.0	0.20	-	-			
2.3 空調方式		—		3.0	0.30	-	-			
3	光・視環境				2.4	0.25	-	-	2.4	
	3.1 昼光利用				1.8	0.30	-	-		
	1	昼光率	—		1.0	0.60	-	-		
	2	方位別開口	—		-	-	-	-		
	3	昼光利用設備	—		3.0	0.40	-	-		
	3.2 グレア対策				3.0	0.30	-	-		
	1	昼光制御	—		3.0	1.00	-	-		
	3.3 照度		—		2.0	0.15	-	-		
	3.4 照明制御		—		3.0	0.25	-	-		
	4	空気質環境				3.9	0.25	-	-	3.9
4.1 発生源対策				4.0	0.50	-	-			
1		化学汚染物質	F☆☆☆☆の建築材料をほぼ全面的に採用している		4.0	1.00	-		-	
4.2 換気				3.0	0.30	-	-			
1		換気量	—		3.0	0.33	-		-	
2		自然換気性能	—		3.0	0.33	-		-	
3		取り入れ外気への配慮	—		3.0	0.33	-		-	
4.3 運用管理				5.0	0.20	-	-			
1		CO ₂ の監視	—		-	-	-		-	
2	喫煙の制御	敷地全域で禁煙されている。		5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能					—	0.30	-	-	3.6	
1	機能性				3.7	0.40	-	-	3.7	
	1.1 機能性・使いやすさ				2.6	0.40	-	-		
	1	広さ・収納性	1人当たりの執務スペース:9.31㎡		4.0	0.33	-	-		
	2	高度情報通信設備対応	—		1.0	0.33	-	-		
	3	バリアフリー計画	—		3.0	0.33	-	-		
	1.2 心理性・快適性				4.3	0.30	-	-		
	1	広さ感・景観	事務所の天井高さを2.8mとしている		4.0	0.33	-	-		
	2	リフレッシュスペース	6%以上のリフレッシュスペース+自動販売機等の設置		5.0	0.33	-	-		
	3	内装計画	コンセプトに沿って内装を計画している。		4.0	0.33	-	-		
	1.3 維持管理				4.5	0.30	-	-		
	1	維持管理に配慮した設計	維持管理に配慮した仕上げ材等を採用します。		5.0	0.50	-	-		
	2	維持管理用機能の確保	維持管理機能を確保するための計画を行っている。		4.0	0.50	-	-		
2	耐用性・信頼性				3.2	0.30	-	-	3.2	
	2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50	-	-		
	1	耐震性(建物のこわれにくさ)	—		3.0	0.80	-	-		
	2	免震・制震・制振性能	—		3.0	0.20	-	-		
	2.2 部品・部材の耐用年数				3.8	0.30	-	-		
	1	躯体材料の耐用年数	—		3.0	0.20	-	-		
	2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	—		3.0	0.20	-	-		
	3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイルカーペット、壁:EP塗装、天井:岩綿吸音板		5.0	0.10	-	-		
	4	空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外露出ダクトにガルバリウム鋼板(排煙ダクト)を採用		5.0	0.10	-	-		
	5	空調・給排水配管の更新必要間隔	給水VLP(B)、排水VP(B)、消化SGP(C)、Eは不使用。		5.0	0.20	-	-		
	6	主要設備機器の更新必要間隔	—		3.0	0.20	-	-		
	2.4 信頼性				3.2	0.20	-	-		
	1	空調・換気設備	サーバー室に空調設備のバックアップを行っている。		4.0	0.20	-	-		
	2	給排水・衛生設備	—		3.0	0.20	-	-		
	3	電気設備	—		3.0	0.20	-	-		
	4	機械・配管支持方法	—		3.0	0.20	-	-		
	5	通信・情報設備	—		3.0	0.20	-	-		

3	対応性・更新性				3.8	0.30	-	-	3.8
	3.1 空間のゆとり				4.2	0.30	-	-	
		1	階高のゆとり	階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
		2	空間の形状・自由さ	—	3.0	0.40	-	-	
	3.2 荷重のゆとり			床荷重: 4900N/㎡	4.0	0.30	-	-	
	3.3 設備の更新性				3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	2	給排水管の更新性	—	3.0	0.20	-	-		
	3	電気配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-		
	4	通信配線の更新性	—	3.0	0.10	-	-		
	5	設備機器の更新性	スペースを確保し、更新・修繕時に建物機能を維持可能。	4.0	0.20	-	-		
	6	バックアップスペースの確保	バックアップ設備のためのスペースを確保している。	4.0	0.20	-	-		
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	3.3	
1	生物環境の保全と創出			外構緑化指数は、75.89%としている。	4.0	0.30	-	-	4.0
2	まちなみ・景観への配慮			—	3.0	0.40	-	-	3.0
3	地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			—	3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			—	3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性						-		-	3.3
LR1 エネルギー					—	0.40	-	-	3.0
1	建物外皮の熱負荷抑制			BPI=0.79	5.0	0.20	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用			—	3.0	0.10	-	-	3.0
3	設備システムの高効率化			—	2.3	0.50	-	-	2.3
	集合住宅以外の評価				2.3	1.00	-	-	
	集合住宅の評価				-	-	-	-	
4	効率的運用				3.0	0.20	-	-	3.0
	集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング	—	3.0	0.50	-	-		
	4.2	運用管理体制	—	3.0	0.50	-	-		
	集合住宅の評価				-	-	-	-	
	4.1	モニタリング	—	-	-	-	-	-	
4.2	運用管理体制	—	-	-	-	-	-		
LR2 資源・マテリアル					—	0.30	-	-	3.5
1	水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水			自動水栓、節水型便器＋擬音装置付を用いている。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無	—	3.0	0.70	-	-		
	2	雑排水等利用システム導入の有無	—	3.0	0.30	-	-		
2	非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減			—	3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			—	3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用			—	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			—	-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取り組み			壁と仕上材が容易に分別可能となっている。OA707ーも採用している。	5.0	0.22	-	-	
3	汚染物質含有材料の使用回避				3.9	0.20	-	-	3.9
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			有害物質を含まない材料を2つ採用予定	4.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避				3.9	0.70	-	-	
	1	消火剤	—	-	-	-	-		
	2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=10以下の発泡剤を用いた断熱材等を使用。	4.8	0.50	-	-		
	3	冷媒	—	3.0	0.50	-	-		
LR3 敷地外環境					—	0.30	-	-	3.4
1	地球温暖化への配慮			ライフサイクルCO2排出率=80%	3.7	0.33	-	-	3.7
2	地域環境への配慮				3.5	0.33	-	-	3.5
	2.1 大気汚染防止			燃焼機器を使用しておらず、大気汚染を全く発生しない	5.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			—	3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.0	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減	行政指導は無いが、基本蓄雨高100mmを満たしている。	5.0	0.25	-	-		
	2	汚水処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-		
	3	交通負荷抑制	—	1.0	0.25	-	-		
	4	廃棄物処理負荷抑制	—	3.0	0.25	-	-		
3	周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	
	1	騒音	—	3.0	0.50	-	-		
	2	振動	—	-	-	-	-		
	3	悪臭	—	3.0	0.50	-	-		
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制	—	3.0	0.70	-	-		
	2	砂塵の抑制	—	1.0	-	-	-		
	3	日照障害の抑制	—	3.0	0.30	-	-		
	3.3 光害の抑制				3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	屋外広告物照明を行っていない	4.0	0.70	-	-		
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	—	3.0	0.30	-	-			

評価する取組み	合計	合計2	No.1	No.2	No.3	No.4	No.5	No.6	No.7	No.8	No.9	No.10	No.11	No.12	No.13
Q2 サービス性能															
1.2.3 内装計画	3.0	2.0	○		○	○	-	○	-	○					
1.3.1 維持管理に配慮した設計	9.0		○	○	-	○	-	○	○	○	○	-	○	○	-
1.3.2 維持管理用機能の確保	7.0		-	○	○			○	-	○		○	○	○	-
2.4.1 空調・換気設備	2.0		-	-	○	○	-								
2.4.2 給排水・衛生設備	2.0	2.0	○	-	-	-	-	-	○						
2.4.3 電気設備	2.0	1.0	○	-	-	○	-	-							
2.4.5 通信・情報設備	2.0		○	-	○	-	-	-							
Q3 室外環境(敷地内)															
1 生物資源の保全と創出	10.0		2.0	-	3.0	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-	-		
2 まちなみ・景観への配慮	3.0		2.0	1.0	-	-	-	-							
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	2.0		-	-	-	-	-	1.0	1.0	-					
3.2 敷地内温熱環境の向上	11.0		-	-	-	2.0	3.0	2.0	1.0	1.0	2.0				
LR1 エネルギー															
2 自然エネルギー利用	-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル															
1.2.2 雑排水等再利用システム導入の有無			-	-	-	-	-	-	-	-					
2.1 材料使用量の削減	1.0		-	1.0	-										
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			-	-	-	-	-								
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0		○	-	○	-									
3.1 有害物質を含まない材料の使用	2.0														
LR3 敷地外環境															
2.2 温熱環境悪化の改善	6.0		-	1.0	-	-	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	-			
2.3.3 交通負荷抑制	-		-	-	-	-	-	-							
2.3.4 廃棄物処理負荷抑制	3.0		1.0	-	1.0	1.0		-	-						
3.2.2 砂塵の抑制	-		-	-											
3.3.1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	3.0		1.0	2.0											

主な指標

Q1 室内環境

2.1.3 外皮性能

窓システムSC	0.6	窓の日射熱取得率(η)	0.5
U値(W/m2K)	窓システム 5.1	屋根	0.5
住戸部分	窓システムU値 -	外皮UA値 -	η AC -
屋光率	0.2%		
自然換気有効開口面積率	0.0%		

3.1.1 昼光率

4.2.2 自然換気性能

Q2 サービス性能

1.1.1 広さ・収納性

執務スペース	1,881.45㎡/200人=9.31㎡	/人	病床	.0㎡/床	シングル	.0㎡ ツイン	.0㎡
--------	----------------------	----	----	-------	------	---------	-----

1.1.2 高度情報通信設備対応

コンセント容量	20.0 VA/㎡
---------	-----------

1.2.1 広さ感・景観

天井高	2.8 m
-----	-------

1.2.2 リフレッシュスペース

リフレッシュスペース	6.3%	レストスペース	0.0%
------------	------	---------	------

2.2.1 躯体材料の耐用年数

想定耐用年数	0 年
--------	-----

2.2.2 外壁仕上げ材の補修必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

2.2.3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔

想定必要間隔	20 年
--------	------

2.2.6 主要設備機器の更新必要間隔

想定必要間隔	0 年
--------	-----

3.1.1 階高のゆとり

階高	4 m
----	-----

3.1.2 空間の形状・自由さ

壁長さ比率	39.6%
-------	-------

3.2 荷重のゆとり

床荷重	4900 N/m2
-----	-----------

Q3 室外環境(敷地内)

1 生物資源の保全と創出

外構緑化指数	76%	建物緑化指数	2%
--------	-----	--------	----

3.2 敷地内温熱環境の向上

空地率	34%	水平投影面積率	0%	地表面対策面積率	25%	舗装面積率	8%
-----	-----	---------	----	----------	-----	-------	----

LR1 エネルギー

1 建物外皮の熱負荷抑制

BPI/BPI _m	0.79	断熱等性能等級	対象外 相当
----------------------	------	---------	--------

2 自然エネルギー利用

自然エネルギー直接利用量	0 MJ/年㎡	採光を満たす教室数	0.0%	採光を満たす住戸数	0.0%
--------------	---------	-----------	------	-----------	------

通風を満たす教室数	0.0%	通風を満たす住戸数	0.0%
-----------	------	-----------	------

太陽光	.0kW	太陽熱等	.0kW	蓄電池	.0kW
-----	------	------	------	-----	------

3 設備システムの高効率化

非住宅部分

BEI/BEI _m	再エネ有	0.73	無	0.73	オフサイト再エネ有	-	-
----------------------	------	------	---	------	-----------	---	---

集合住宅の評価

一次エネ削減率	再エネ有	無				-	
---------	------	---	--	--	--	---	--

LR2 資源・マテリアル

1.2.1 雨水利用システム導入の有無

雨水利用率	0.0%
-------	------

2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用

特定調達品目	-	エコマーク商品	-	自治体指定の特定品目等	-
--------	---	---------	---	-------------	---

2.5 持続可能な森林から産出された木材

使用比率	0.0%
------	------

3.2.1 消火剤

オゾン層破壊係数(ODP)		地球温暖化係数(GWP)	
---------------	--	--------------	--

3.2.2 発泡剤(断熱材等)

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	1
---------------	---	--------------	---

3.2.3 冷媒

オゾン層破壊係数(ODP)	0	地球温暖化係数(GWP)	8
---------------	---	--------------	---

LR3 敷地外環境

2.2 温熱環境悪化の改善

見付面積比	109%	隣棟間隔指標R _w	0.17
-------	------	----------------------	------

地表面対策面積率	25.0%	屋根面对策面積率	1.0%	外壁面对策面積率	0.0%
----------	-------	----------	------	----------	------

見付面積S _b	777㎡	卓越風向と直交する最大敷地幅W _s	42.01 m	基準高さH _b	17.05 m
--------------------	------	------------------------------	---------	--------------------	---------

緑地	241㎡	水面	㎡	保水性対策面	㎡	高反射対策面	㎡	再帰性反射対策面	㎡
----	------	----	---	--------	---	--------	---	----------	---